

令和5年度 第3回 瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会 会議録

- ・日時 令和6年2月21日（水） 13時30分～14時30分
- ・会場 ココロかさなるCCNセンター 5階 第4会議室

1. あいさつ
2. 議事

【福田会長】

パブリックコメントの結果ついて、事務局より説明をお願いします。

【事務局説明】

【福田会長】

ありがとうございました。続いて、第9期老人福祉計画案について説明をお願いします。

【事務局説明】

【福田会長】

ありがとうございました。今までの説明で何か意見・質問等はあるか。

特に無いようなので、この計画案にご承認いただけるかを伺う。承認の方は挙手でお願いします。全員挙手という事で、この計画案を認める事とする。

それでは、この計画案について本会議の議事は終了となるが、一年間委員として会議に出席した感想などを一言ずついただきたい。坂之上委員からお願いします。

【坂之上委員】

前回欠席したので申し訳なかったが、良い計画が出来たと思う。私の地域の事でお話したいが、本田団地連合会の役員もさせてもらっている。非常に高齢者が多くてこの会議で出てくるような事も色々あるが、最初の会議で中村副会長から「色々な事を点数化してお金の分配を考えたい」という話があったと思う。

ウチの団地にも高齢者のサロンがある。そういうところには自治会、社会福祉協議会から補助金をもらって活動をしている。一方、麻雀サークルというものもあり、麻雀は認知症にも良く、高齢者が指先を使って非常に良い事だと思うが、そういうところに対する補助金が全然無い。社会福祉協議会にもそういうところに使えないかと聞くが、特定な事だけを対象とした活動に補助金は使用できないと言われる。仕方がなく来年は自治会から出そうと思っている。

活動費が欲しいというばかりではないが、最初の点数化という話で、喫茶店に行く人にも点数をつけたらどうかという事があれば、麻雀サークルにも点数をつけてもらえると嬉しいと感じた。

その他については難しい話であるため、一生懸命考えた事が今後活かされて、瑞穂市の高齢者が生き生きと暮らせれば良いと思う。

【福田会長】

ありがとうございました。では阿部委員お願いする。

【阿部委員】

基本的に高齢者と言うのは私の年代に反映される。これから高齢者が多くなり、人口は減るが高齢者は増えるという傾向にある。

そういった中で生き生きプランを是非とも上手く活用し、高齢者が楽しく生きられるよう実質的に運用される事を楽しみにしている。

【福田会長】

ありがとうございました。では小倉委員お願いする。

【小倉委員】

前は欠席となり申し訳ない。前回の時に色々な最終的な話があったと思うが、今回このような形で最終の修正ができ、冊子ができた事は良かったと思う。

高齢者の方がいつまでも元気で、病気で苦しんだり、介護を受けたりする事がないまま天寿を全うできるよう、森地区ではもりもりサロンが活発に行われている。

男性女性半々。中々そういう地区が無いと言われるが、男性でも食器類を洗うなどお手伝いをしていただける。結構稀なサロンらしいが、他の地区で見た事もある。やはり高齢者の方は家の中に閉じこもりがちなので、このような高齢者が色々なところに出て行ける場は必要だと思う。

そのためには楽しめる事がないとだめだと思う。皆さん喫茶店でワイワイという事はあるが、それ以外で、このような事したら「手先がこうなった」「脳が活性化した」等、情報交換ができれば良いと思う。

そういった形でプランが出来上がるのは素晴らしい事であり、これを実践していく事ができるように協力していければと思っている。

【福田会長】

ありがとうございました。では玉城委員お願いする。

【玉城委員】

一年間ありがとうございました。瑞穂市にある社会福祉法人として、今実際に直接関わっている事業も沢山あるため、それをこの計画の中でどのように進めていくのか、地域の方と一緒に進めていく事が出来るのか、現場のスタッフと話をしながら進めて行ければと考えているところである。

先ほど佐藤部長が言われたように介護の職員もそうだが、例えば配達をする人材等昔は求人

出せばすぐに来たが、今は中々来ない状況である。また、食材料費の高騰という事もあり、瑞穂市だけの話ではなく申し訳ないが、私達は池田町等でも配食をしているが、どんどん他の事業者が降りていっている。食材料費は上がるが原価を上げる事が出来ない事もある。配達員も募集はかけるが来ないため、防御的な賃上げをせざるを得ないような状況がある。このような状況の中、少し苦戦しているところもあるため、人材に対しての対策もしていけないと思う。

また、この4月には介護保険の改正等もあるため、人材はどんどん減っていくが内容は改正の度に高い内容を求められる。

する事に対する難易度は上がるが人材は減っていくという矛盾をもう少し解決できるよう、自分たちも色々なところに現場の声を伝えていかなければと思いつつ、少しでも地域にある施設として何か還元していく事が出来ればと思っている。

【福田会長】

ありがとうございました。ではケアマネージャーの井桁委員をお願いします。

【井桁委員】

一年間ありがとうございました。計画策定をしている中で、私は在宅で生活されている方に対して必要なサービスを介護保険へと繋げていくという仕事しているが、やはり皆さんが言われるように数年前に比べるとヘルパーの数も減ってきており、自宅に訪問してくれるサービスもあるが、実際に調整しようとする少し大変になってきている実情は感じている。

その中でもこういったサービスを繋げていく必要はあると思っている。近所の方が月に1回でも声を掛けてくれるだけで、自宅で過ごせる期間が少しでも伸びて、楽しく過ごせるようにという調整をしていきたいと思っている。

折角、今回の策定委員会に参加させてもらったため、ある支援の中から上手くニーズと合わせて繋げていけるようにしていきたいと思う。

【福田会長】

ありがとうございました。それでは岐阜県岐阜地域福祉事務所の松井委員をお願いします。

【松井委員】

岐阜県の職員として参加しているため、私が発言すると岐阜県の人があんな事を言っていると思われるのではないかと、中々発言もしにくいと思っていたが、個人的な意見として聞いていただきたい。

瑞穂市は県内を見ても高齢化率は大変低く、他のところが抱えている課題とは少し違う市だと感じている。色々な介護予防の取組みもしていただけており、これが効果的に機能していくといいなと期待している。

高齢化は進んでいくが、是非高齢者の皆さんも一緒になり、引き続き活気のある市、地域であり続ける事が出来るように取り組みを進めていただけると、他の市町の参考にもなっていくのではと期待している。

【福田会長】

ありがとうございました。それでは、もとす広域連合介護保険課長の井尾委員お願いします。

【井尾委員】

一年間ありがとうございました。もとす広域連合では、来年度から3年間の介護保険事業計画案を策定したという事で、2月6日には議会も終わり、その中で事業計画の案を報告させてもらった。

合わせて介護保険料についても現状10段階の設定だが、来年度から65歳以上の高齢者の方については13段階という多段階化といったところの条例改正や、介護報酬改定の関係で設備、人員基準の改正が行われるという事で、それにかかわる条例改正を行い、議会で承認を得て議決をいただいたところである。

特に介護報酬改定は医療と介護の連携強化や介護事業者におけるテクノロジーについて、国は介護ロボットやICT化といったテクノロジーを積極的に導入する事により、現場の効率化を目指し、人材不足を補っていくといったところを掲げている。

もとす広域連合において何が出来るのかと考えた時、まずは事業者を集めた中で先進的な取り組みを行っているところもあると思われるため、そういったところと横の連携を図りながら、テクノロジーの積極的な活用について遅れる事の無いように、対応をしていければと考えている。

今回の瑞穂市の高齢者生き生きプランは素晴らしいものになってきた。介護保険事業計画も出来たところで、令和6年度から8年度の3年間、計画的にも一体的な物が出来たと思っているため、実行していく部分でもとす広域連合と瑞穂市が両輪となって進めていけたらと思っている。

【福田会長】

ありがとうございました。では地域包括支援センターの池田委員お願いします。

【池田委員】

一年間ありがとうございました。本計画だが、社会福祉協議会及び地域包括支援センターが関わっている部分も多数あるので、この計画がきちんと実行できるように、関係機関の方のお力をお借りして、しっかりと進めていきたいと思う。

【福田会長】

ありがとうございました。では清水委員お願いします。

【清水委員】

一年間、一般市民として参加し、勉強する部分も多く有意義な時間を過ごさせてもらった。

市民として、自由な意見を発言させていただいたので、専門分野だからという事は話せないが、地元、瑞穂市で生活していると、やはり高齢者の姿が日常生活で目に付くようになってきた。

私自身も気がつけば高齢者で、いつまでも若いと思いつつ、年齢だけは日々重ねているため、いずれ体の方も自由が利かなくなるという事があると思うが、その中で自由な意見を言わせても

らえれば、高齢者の理想は先ほど言われたように、いつまでも元気で、病気で苦しんだり、介護を受けたりする事がないまま天寿を全うできる事が一番だと思う。

一人暮らしの老人も非常に増えており、殆どの家は老夫婦家庭が中心になっているのではと思う。高齢者が高齢者を介護するという時代に入ってきているが、その中で行政の方々に寄りかけたい事は、そういう人たちが家の中に引きこもらないような町づくり、都市空間をどんどん形成してもらいたいという事がこれからの希望である。

この間、能登の方で地震があった。災害が起きた場合に避難しないとイケないが、これからは助かっても後の生活の中で亡くなるという事であれば2次災害となるため、色々なものを含めて生き生きした町づくりとか、基本目標にも大きく掲げられているが、安心安全に暮らす町づくりが必要だと思う。

このような事は、元気な高齢者、介護が必要な高齢者に限らず、共通する問題であるため、課を超えた横断的な町づくりが必要になってくると思う。

そういったインフラを含めた全ての面で、生き生きした暮らしが出来る町づくりというのを目指してもらえればと思う。

最後に、富山に富山型デイサービスというのがあると新聞で読んだ。デイサービスの施設に、赤ちゃんや幼児を預かる施設を併設して、老人が子どもや孫の世代と触れ合える、それによって認知症を防げたりするという事があった。やはり多世代間の交流というのが最終的な手段として大事ではないかと思う。

昔の家庭は多世代の大家族で生活し、お爺ちゃんお婆ちゃんの姿を孫たちが見て学び、子育て世代が親から学び、老人は小さい子の世話をして生きがいを見出すという、人材を育成しなくても自然に家族の中で成り立っていくような、自然なコミュニティが昔は成り立っていた。

今はそれが出来なくなったため、これを行政の力、仕組みで、地域ぐるみで構成できるようなコミュニティを町づくりの一環として出来れば面白いのではないかと思った。以上である。

【福田会長】

ありがとうございます。一年間委員の皆さんから活発な意見が出て感謝している。ありがとうございます。

事務局の方も、これだけ立派な冊子を作ってもらい、皆から出た意見を纏めて仕上げただいたので、物凄い苦勞があったと思う。

本日欠席されている中村副会長も、色々な面で一般的な目線とは違った大学という立場から学術的な目線で、客観的な老人福祉計画に必要なことを、独自の目線で導いていただいて、今日は不在だけれども感謝している。

私自身も、問題点や計画案を作成するにあたり、瑞穂市の高齢者に関する問題点、問題点に対する対策が色々必要であろうという事が浮き彫りになったので、今後に生かしていきたいと思っている。

瑞穂市は、私が住んでいる本田地区に関して言えば、児童の数がどんどん増えている面もあり、新入生も今年は増えている。若い世代も増えている、一般的に他の地域の高齢者がどんどん増えているところとは少し違う、若い活気も多い地区だと思う。

その中で高齢者の方と、若い世代の方と、例えば散歩など人が出歩いたりするが、高齢者に活気があると、町全体の活気が出てくると思う。こういう計画案を出すとやはりお金が絡んできてしまうところもあり、全て良い事を追い求めればどんどん予算が掛かってくるが、どうしても枠がある中で考えていかないといけないというところで、今回の計画はそういう面では皆さんが色々知恵を出して作られたものであると思っている。

この計画案を元に、これを皆さんと実行していきたいと思っている。今後もよろしくお願ひしたい。一年間ありがとうございました。それでは、事務局へお返すする。

【事務局】

最後になるが、来年度からのこの会議の在り方について検討している内容をお伝えします。

この1年間を通して、皆さんには計画の策定は元より、高齢者施策全般にわたって検討していただきました。この実情を踏まえ、この度、瑞穂市高齢者施策推進会議という名前の下で、引き続き老人福祉計画の策定を行い、高齢者施策全般を皆さんに話し合っていたいただきたいと思います。

こちらについては3月の議会に上程し、それが通れば正式に名称変更となります。来年度、再来年度と進捗管理のために、皆さんにお集まりいただく機会がありますが、その際は瑞穂市高齢者施策推進会議という名称で案内する事になると思うのでよろしくお願いします。

新しく推進会議という形にしていきたいという点について質問などがあれば。

折角、皆さんにお集まりいただきますので、高齢者施策について中心的に審議する場としていきたいと思っています。市の事業をもう少し掘り下げて意見をいただいたり、先ほど坂之上委員から出た「麻雀活動などへの補助は出来ないか」、清水委員の「多世代コミュニティは何を活動しているのか」等、それに対する市の取り組みについて、「もっとこのようにした方がいいのでは」等の意見をいただき、高齢者施策全般についての審議できる場にしていきたいという事で提案させていただきました。

【井尾委員】

年間何回程度を予定しているのか。

【事務局】

何回とは決めていないため、現状のように諮りたい時に集まっていただく事になり、必要であれば3～4回など、今と同様の形になると思います。委員の皆さんの任期は3年間あるので、有意義に検討いただければと思っています。

それでは、また次回からもよろしくお願ひいたします。これをもって、瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会を閉会させていただきます。一年間、ありがとうございました。

閉会